

BASEL



- 発行責任者: 横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者: 広報担当理事
- 連絡先 : 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内

Fax 045(475)2053

<http://basel-y.sakura.ne.jp>



会長挨拶

会長 岩澤 英喜

令和3年度の総会は、集会形式で開催することができました。会員の皆様にはご理解ご協力をいただきましてありがとうございました。昨年度は任期延長という形で会長を務めさせていただきましたが、本年度も会長という大任を務めさせていただくことになりました。どうかよろしく願いいたします。

オリンピックが開幕し、パラリンピックの開催も迫ってまいりましたが混沌とした状況は変わりません。そのような中においても、選手は最高のパフォーマンスを発揮すべくトレーニングを重ねております。それを支える私たちも研鑽を積み、知恵を出し合っていかなければならない時だと思えます。選手とそれを支える者の一つ一つの取り組みが、大会の成功に繋がると信じています。

その取り組みの一つとしてICTの活用があると思えます。コロナ禍においてリモート会議をはじめ、ICTの活用が広まってきました。今後は、現場と通信技術の融合が障がい者スポーツだけでなく、スポーツ活動全体でも進んでいくこととなるでしょう。横浜市障がい者スポーツ指導者協議会においてもICTを活用した情報発信を進めてまいりましたが、その必要性は今回の総会でいただいた会員の皆様からのご意見でも感じることができました。今年度もICTの活用を推し進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。まだまだ厳しい状況が続いておりますが、会員の皆様におかれましてはご自愛いただき、今後とも障がい者スポーツの発展にご尽力をお願いいたします。

関東ブロック障がい者スポーツ指導者協議会 幹事会 出席報告

副会長 北川 昇代

全国の指導者協議会は8つのブロックに分かれ、私たち横浜は関東ブロックに所属しています。会員数の多い順に東京 2921名、埼玉 989名、千葉 833名、神奈川 810名、茨城 555名、横浜 481名、栃木 434名、群馬 344名、川崎 193名、山梨 171名の10都県市で構成されています。(2021年3月31日現在)

皆様が納めている年会費から、1100円が関東ブロックを通して横浜に振り込まれ活動資金となっています。幹事会は会長が集まって、地域の活動の情報交換、関東ブロック主催の研修会開催や日本障がい者スポーツ協会からの情報を得る目的で年3回開催されますが、今回は前回同様リモートで行われました。

各都県市の報告は令和2年の総会は全て書面での開催だったこと。活動実績も例年よりかなり少なく、研修会はほとんどの県が中止でした。

その中で私たち横浜は対面研修会の代わりに、指導教本*のカリキュラム変更点の補足資料を作成し、全会員に配布したことを報告させて頂きました。

今年度の関東ブロック研修会は現在検討中で、決まり次第HPに掲載いたします。

全国の研修会は、神戸しあわせの村で、12月11～12日、150名程度で開催予定です。また、今年の全国障害者スポーツ大会は三重県、来年は栃木県です。

各ブロック指導者協議会の活動は、日本障がい者スポーツ協会発行の機関誌「NoLimit」に掲載されていますのでご覧ください。

*障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)2020年改訂カリキュラム対応;(公財)日本障がい者スポーツ協会[編]

第26回ハマピック個人競技を終えて

横浜ラポールスポーツ課 徳山 葉奈

昨年度、新型コロナウイルス感染拡大により、全競技が中止となったハマピック個人競技が4～5月にかけて実施されました。

「ボッチャ競技」が新たに加わり新鮮な部分があった一方、新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年とは異なる開催方法での緊張感のある大会でもありました。

具体的には、以下の方法を大会に関わる皆様にご協力いただきました。

- 無観客
- 競技会場へ入場できる者をリストバンドで管理
- 競技中以外はマスク着用
- 長時間滞在を避けるため、障害区分別での競技時間の分散
- プログラムやナンバーカードを事前に郵送し、当日の受付をなくす

トピックスの一つは、今年度の全国障害者スポーツ大会(三重)より正式種目となる「ボッチャ競技」の横浜市代表選手第一号が誕生したこと！さらには、初参加の選手、ハマピック新記録を樹立する選手が多く、この状況下でも諦めず、可能な範囲で練習を続けていた選手たちの成果が随所にみられました。大変なことだけではなく、嬉しいこともたくさん発見できた大会となりました。

最後に、皆様のご協力なしには、ハマピックの開催は実現しませんでした。大会運営にご協力いただいた、各競技団体、横浜市障がい者スポーツ指導者協議会、補助役員、手話通訳の皆様、本当にありがとうございました。

会員の活動・体験コーナー

【3月27日(土)スポーツフェスタ「サッカーの日」 於;谷本公園】

広報担当

今回の参加は3チームで、コロナ対策も万全の大会でした。



【4月4日(日)ハマピック「アーチェリー」 於;富岡総合公園アーチェリー場】

会員 鳥羽 美鹿

さわやかな風が吹く中、試合が始まりました。アーチェリー場に来るのも、競技を見るのも初めての私には、ビックリする事ばかりでした。

的までの距離がとても長いと私には感じたのですが、弧を描いたその先は必ず円を捉えていました。また、弓を引く選手の安定感のあるフォームが格好良く見えました。

私にとっては心地よい風も、選手の方々にとってはあってほしくないものなのかと思ひ、心の中で風が止むように願っている自分がありました。コロナ禍で参加人数が少ない中、開催されたハマピック。不安がないように対策をしていただいた関係者の方々に感謝いたします。

お手伝いできて楽しい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。



【4月10日(土)ハマピック「サウンドテーブルテニス」 於;横浜ラポール】

会員 金子 誠太郎



私は毎月のようにボランティアをしています。コロナ禍なので直接選手と接することはなかったのですが、会場入口での案内や皆が楽しく怪我をしないように見守る役割をしました。

これからも、どんどんラポールボランティアとして手伝いをしたいと思っています。

【4月11日(日)ハマピック「卓球」於;横浜ラポール】

会員 佐藤 明夫

昨年、初級指導員の講習を受け、今回が初めてのボランティア活動でした。不安もありましたが横浜ラポール、BASELの皆様に優しくご指導頂いたお蔭で最後まで務める(主にボール拾い)事ができました。

私がお手伝いした肢体不自由の方の卓球は見事な競技展開でした。また、聴覚障害の方の試合では勝負に徹したアスリート魂を感じました。試合終了後は選手同士が和気あいあいと楽しそうにしている改めてスポーツの良さや魅力を感じ、当日は本当に充実した一日を過ごすことが出来ました。

昨年はコロナ禍の影響で中止となり2年越しの再開との事でしたので、このような素晴らしい大会が毎年開催される事を願っております。その時はもちろん私も参加したいと思っています。有難う御座いました。



会員 内川 陽司

今回のハマピック卓球競技が、私にとって初めての障がい者スポーツボランティアとなりました。

新型コロナの影響で昨年度は大会が中止となり、選手達は日頃の練習の成果を発揮する機会を得られず大変悔しい想いをしたことでしょう。こうして今回のハマピック開催が無事行われた事はとても嬉しく感じています。初めてのボランティアでしたが選手達の全力でのプレー姿、ポイントをとった時の喜びや笑顔、取られた時の悔しい表情などついつい見入って、ボール拾いをし忘れてしまいそうでした。大会を通してもっと選手達の力になったり、応援したいと強く思いました。

選手にも声をかけてもらったり、一緒に活動したボランティアの皆さんに優しく接してもらい、短い時間でしたが楽しく過ごすことができました。今後も様々なボランティア活動に参加していきたいと思えます。

【4月18日(日)ハマピック「水泳」於;横浜ラポール】

会員 佐光 賢子



コロナ禍での開催となった水泳競技は、無観客、表彰式なしなど感染予防対策を徹底した環境での開催でした。私は記録係として渡されたタイムと順位を正確に記録するという役割でした。

「Take your marks」の掛け声がかかるとシーンと緊迫し、新記録のたびに拍手し、選手もコーチも大会に関わる全ての方がベストを尽くせるように集中し努力する、そんな温かい競技に参加させて頂き、日常では体験できない感動を憶えました。

当日は全42レース中、28個の新記録ができました。皆が一体となることのできるスポーツの魅力を思い出させて頂きました。同時に川崎市立橋高校水泳部の真摯な姿勢、運営スタッフの努力の賜によるプログラム構成など、全ての方が各々の役割を真剣に遂行された結果、素晴らしい大会が開催されたとわかり深く感銘を受けました。皆様ありがとうございました。

【4月25日(日)ハマピック「ボウリング」 於;町田ボウリングセンター】

会員 安室 茂美

2年ぶりに大会が開催され、顔なじみの選手から新顔の選手まで、日頃練習してきたことが本番の試合で成果が出るように、微力ながらお手伝いできるように毎年楽しみに参加しています。

例年なら選手のみなさんがストライクやスペアを出すと歓声が上がっていましたが、コロナ禍でハイタッチもなく淡々とプレイされていました。その中でも上位に入る選手のみなさんは 200 以上のスコアでした。毎回誰が上位になるかドキドキ、ハラハラしながら応援しています。次回も楽しみにしています。今回も何事もなく無事に終了できたことを感謝しています。



【4月25日(日)ハマピック「ボッチャ」 於;横浜ラポール】

会員 横川 信子



ボッチャ競技は、他競技に参加機会の少ない重度身体障害者のスポーツ参加を目的に、今年秋開催の三重県で行われる全国障害者スポーツ大会に初めて導入されます。今回その大会の横浜市代表選手選考を兼ねて、初めてハマピックの種目に入りました。

コロナ禍のため無観客での大会となりましたが、参加者 20 名(オープン参加含む)が障害区分別に 5 つのコートに分かれて対戦。私は2月に講習を受講し、当日「タイムキーパーとスコア表記入」を担当しました。

ボッチャの魅力は、何ととってもシンプルだけど奥深い戦術と駆け引き。選手たちは一投一投に集中し、ボールを寄せるだけでなく相手のボールをはじいたりテクニックが光るプレーも出て、コート全体が夢中になって勝負の行方を見守りました。私達タイムキーパーも正確でフェアなジャッジに努め、ボッチャ独特の緊張感をも体感することができました。

今後もボッチャを盛り上げ、選手たちの活躍に期待したいと思います。ありがとうございました。

【4月29日(木・祝)ハマピック「フライングディスク」 於;新横浜公園投てき練習場】

会員 小林 英夫

当日は、悪天候にもかかわらず多数の参加者に恵まれ、担当指導員から競技内容の説明後それぞれの位置につきました。

選手は日頃の練習の成果を発揮できるように真剣に競技に集中していました。そしてその一生懸命に頑張った様子に、とても感動を受けました。

今後もボランティア活動に参加させていただきたいと思えます。





ハマピック個人競技最終種目で、参加者の最も多い陸上競技が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開会式は行われず、8時に25名のボランティアが集合しました。天候が危ぶまれましたが、肌寒く途中雨がぱらついていたものの、終了まで順調に競技は進行しました。長い一日でしたが、お昼は崎陽軒のシウマイ弁当とお茶をいただいて、エネルギー充填できました。

表彰式はできませんでしたが、無観客や競技時間の工夫など、感染予防対策のもと実施することができたことに、選手の皆さんが感謝の言葉をおっしゃっていたのが印象的でした。

ハマピックが、横浜市に在住・在勤・在学している方を主な対象としたスポーツ大会で、日頃の練習の成果を発揮する機会、全国大会出場への挑戦、さまざまな方との交流の場であることが実感できました。

10月23日から3日間、三重県での第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」に選出された選手の皆さんが十分に力を発揮できるよう、応援しています。

こんな活動をしました

【中区のイベントに協力しました】

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 田川 豪太

令和3年6月12日(土)に開催された「中区文明開化ウォークラリー」のゴール地点となった、大榎橋ホールでインクルーシブスポーツ体験会が企画されました。実施された種目は「車いすバスケットボール」「ブラインドサッカー」「ボッチャ」です。

このうち「ボッチャ体験」コーナー運営が、横浜市障がい者スポーツ指導者協議会と横浜ラポールに依頼されました。バセルからは6名が参加し、多くの方々にボッチャを楽しんでいただきました。



【ハマピック受付】

広報担当



全国障害者スポーツ大会の横浜市代表選手選考会を兼ねた、第26回ハマピック受付作業(2月1日～28日)を横浜ラポールロビーで行いました。

名前(連絡先)・年齢・出場種目・障害区分等、競技毎に異なる必要事項の記入漏れなどを確認し、参加費と申し込み用紙を参加希望者からお預かりしました。

お知らせコーナー

【総会報告】

2021年5月22日(土) ラポールボックスに於いて開催され、全ての議案が承認され無事終了いたしました。マスク装着、ソーシャルディスタンス保持などの条件の中、ご出席いただいた会員の皆様、ありがとうございました。



【事務局より】

先に開催した定時総会において会員からご意見のあった当協議会登録会員の年齢構成について調査したので、報告いたします。協議会の支援事業である各種スポーツ行事の運営補助員については、会員からボランティア応募にて営んでおり、高齢者が活躍している実状にあります。少子高齢化の世情の中、新会員の増加、若年指導者のボランティア参加、高齢指導者の健康維持が組織としての課題であると認識を新たにしたところです。 (事務局長 平山 和幸)

*2020年12月1日現在の登録状況を使用(会員数 487 名)

【性別構成比】

男性:237名 49%
女性:250名 51%

【年齢別構成比】

20歳～: 79名 16%	60歳～:71名 15%
30歳～: 58名 12%	70歳～:44名 9%
40歳～:100名 21%	80歳～: 6名 1%
50歳～:129名 26%	

【研修活動について】

前期研修会は中止となりました。

後期研修会は、以下の日程で開催予定です。

(新型コロナウイルス感染症の情勢によっては、テーマ変更、研修会中止の可能性あります。)

後期予定 ①東京 2020 オリンピック・パラリンピック報告・・・11月6日(土)

②ボランティア活動における介助の基本・・・3月6日(日)

【ボランティア募集のお知らせ】

後期ボランティア募集 締め切り8月30日

中止となっている種目、新しい活動もありますので、改めて募集プリントを同封しました。

ご希望の方は期日までにご提出ください。

【メールアドレス登録の件】

会員の皆様に地域から寄せられるボランティアの依頼情報などをメールで配信しています。

情報配信を希望される方は、QRコードを携帯、スマートフォンなどで読み取るか、

下記のアドレスよりお名前・会員番号を入力し返信してください。

*既に登録済の方は、登録の必要はございません。

basel@basel-y.sakura.ne.jp



役員を紹介します

会長：岩澤英喜
副会長：北川昇代
事務局長：平山和幸
事務局：小島千尋・松川文博・柳井俊一
会計：安室茂美・小林節子
研修：後藤貴久・田川豪太・西原隆一・宮城信隆・和田攻
広報：河合由美子・金井塚かず子・車地厚子・西村うづき
監事：志摩初枝・佐山篤



【新役員の抱負】

今までの経験を活かして、協議会の活動に貢献したい。

佐山 篤

自身も障がい者として、スポーツを通じた心身の鍛錬による QOL の向上や様々な社会参画を実現していくことを進めており、協議会の役員としてその推進支援を行いたい。

柳井 俊一

協議会の運営側に関わらせて頂くのが初めてなので、勝手がわかりませんが頑張りますので、よろしくお願いいたします。

和田 攻

パラスポーツがまだまだ認知されていないと感じています。パラ競技者の活動支援と、パラスポーツの普及活動に微力ですが協力していきたいと思っています。

宮城 信隆

水泳指導からスタートした障がい者スポーツの世界でしたが、数年前に私自身が体調を崩し、昨年外科手術を受けました。経験を生かしてさまざまな角度からの目線で活動のお手伝いをさせて頂きたいと思います。

小林 節子

パラリンピック競技大会が8月24日～9月5日に開催されます。
横浜ラポールご利用者からも多くの種目で選出されています。
(陸上・水泳・車いすバスケットボール・ボッチャ等)
皆さん熱い声援を送りましょう。

【会員数 2021年7月現在 448名】